

## 令和6年度 立川市立立川第七中学校 学力調査等の分析について

- 分析の対象： ・授業の振り返りシート ・定期考査の結果
- ・令和6年度全国学力・学習状況調査
  - ・令和6年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」
  - ・令和6年度「東京都児童・生徒体力・運動能力・生活・運動習慣調査」
  - ・東京ベーシック・ドリル診断シートの結果
- 等

教科	各種調査等の分析	各種調査等の分析による七中の生徒の課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多くの生徒が授業に意欲的に取り組んでいるが、授業振り返りシートでは、授業のねらいやポイントについての理解についての項目のみ「そう思う」の回答が7割に満たないので、明確に理解できていないことがうかがえる。</li> <li>○期末考査では、基礎事項の定着をみる問題では正答率が8割に満たない。</li> <li>○全国学力・学習状況調査によると、制限のある記述式の問題の正答率が全国の平均正答率を10ポイント以上下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元、毎授業での学習に目的意識をもって取り組むことに課題がある。授業への意欲を成果につなげるためにも、目標を明確に捉える必要がある。</li> <li>・学習内容のポイントを明確に捉えるとともに、家庭学習等で繰り返し復習する習慣をつける。</li> <li>・自分の考えを書く力はあるが、制限に則って文章を記述していく力を向上させる。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○期末考査の結果から、地図の特色や雨温図の読み取りが困難であるとともに、基礎的な知識の定着に課題のある生徒が多く、基本的な問題での正答率が5割未満であった。</li> <li>○期末考査の結果から、長文の資料を読み取ることが困難な生徒が多く、複数の資料を読んで解答する問題の正答率が4割未満であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元毎の小テストや家庭学習を通して、基礎的な知識の定着を図る必要がある。</li> <li>・授業内で諸資料を読み取る時間を設けることで、諸資料を調べまとめる技能を育成する必要がある。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業振り返りシートでは7割程度の生徒が「授業に意欲的に取り組んでいる」と回答しており、問題演習の時間には生徒同士で教え合いながら取り組んでいる。</li> <li>○全国学力・学習状況調査によると、知識・技能の観点の正答率が62.3%で、東京都平均と比べ5ポイント低く、基礎的な計算能力が身に付いていない生徒が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の意欲を家庭学習につなげることで、既習事項(特に知識・技能の観点に含まれる基礎となる内容)の確かな定着を図るとともに、学習内容を充実させる。</li> <li>・問題文を丁寧に読み取り、粘り強く取り組む姿勢を身に付けさせる。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常生活の中で起こる様々な現象に対し、「なぜだろう」と疑問をもち、授業や実験に意欲的に取り組む生徒が多い。授業前アンケートでも、7割以上の生徒が「理科の実験が楽しい」と答えている。</li> <li>○何のために実験を行い、実験から何が分かったか表現することが困難な生徒が多く、実験後のレポートの考察を自分の言葉で書いて十分に表現することができる生徒は5割程度である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元でねらいを明確にし、自分たちで仮説を立てて、実験方法を立案し、問題解決できるようにする。</li> <li>・身近な自然現象などについて、仮説を立て、実験方法を立案していくために、基本的な実験技能や知識を身に付ける必要がある。基本的な知識の定着に向けて、家庭学習等で繰り返し復習などを行う習慣をつける。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の振り返りシートからは、自分の考えを表現する時間が少なく解答する生徒が2割程度いた。</li> <li>○90%の生徒が楽しんで授業に取り組んでいる一方で、楽しいあまり授業規律から逸脱する場面が見受けられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数のグループで学習したり、リーダーを設定したりして、小グループでの発表の場を設定していく。</li> <li>・授業における規律やルールを徹底させて、合唱など大人数でしか感じられない喜びや楽しさを体験させていく。</li> </ul>
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>○71%程度の生徒が意欲的に作品制作に取り組んでいる。</li> <li>○発想を深めることが苦手な生徒や、基礎的な技能が身に付いていない生徒が17%いる。</li> <li>○到達目標を高く設定し、完成まで自身の作品と向き合い、こだわって作ることができる生徒が多いが、完成まで丁寧に作品と向き合えない生徒が16%いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考作品や友人の作品を鑑賞会で鑑賞することにより、他者の視点や発想を感じ取り、自身の発想力や構成力を高める。</li> <li>・実技の演習から基礎的な知識と技能を身に付けたり、何度も諦めずに取り組むことで技能の上達と目標に向かって頑張る力を高める。</li> </ul>
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新体力テストの結果では、「持久走」のTスコアが40台前半の学年が多く、全国平均に比べ低い傾向である。また、その他の種目でもTスコアが50以上になっているものが少なく、体力が低い傾向である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教え合いを通じた言語活動を活発にし、授業内でのグループ活動内の話し合いの機会を通じて、自らの考えを様々な場面でアウトプットできる力を身に付ける。</li> <li>・授業中の運動について、苦手な分野に積極的にチャレンジをしていく意欲的な姿勢を身に付ける。</li> <li>・実技の授業では、毎時間ランニングを取り入れ、全身持久力を向上させる。</li> </ul>
技術家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○90%程度の生徒は課題に意欲的に取り組み、授業規律や学習のルールを守り、授業に臨んでいる。</li> <li>○90%以上の生徒が授業のねらいや学習のポイントを理解している。一方で調理をしたことがない、買い物に行ったことがないなど、生活経験が乏しく自立していない生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対して一人で取り組むことが難しい生徒も、ICT機器を効果的に使うことで、課題に対して関心をもって取り組む力を身に付ける。</li> <li>・体験的・実践的な学習活動を通して、授業で学んだ知識や技能を生活に生かす力や態度を身に付ける。</li> </ul>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語での教科書の音読やALTとの会話に積極的に取り組んでおり、音読テストでは平均点が約7割を超えた。</li> <li>○単語や文法の意味理解などの基礎的・基本的な内容については6割以上の正答率であったが、単語や英文を正しく書くことについては4割未満であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習に取り組む姿勢を育むとともに、英語で表現することに対して「楽しんで学ぶ」という気持ちをもたせる。</li> <li>・引き続き小テストなど反復練習に力を注ぎ、基礎的・基本的な知識の定着を図る。</li> <li>・学んだ単語や文法を英作文で使うことに対して、粘り強く取り組む姿勢を身に付ける必要がある。</li> </ul>